



総合学科家政科学系列シルクガールズプロジェクト

サムライゆかりのシルク
推進協議会主催

シルクノチカラ 2022

被服系・保育系・演劇部が出演しました

鶴岡のシルク華やかに 高校生がドレス披露



鶴岡産シルクを使った衣装のファッションショー―鶴岡市・荘銀タクト鶴岡

鶴岡市の高校生が同市の伝統産業のシルクをテーマにした活動を発表する「シルクノチカラ2022」が11日、同市の荘銀タクト鶴岡(市文化会館)で開かれ、鶴岡産のシルクで作ったドレスのファッションショーなどが披露された。

シヨールには、鶴岡中央高総合学科家政科学系列で被服を学ぶ27人が登場。胸に大きなリボンが付けた衣装や、スカートに花を施した華やかなドレスなど50着ほどを紹介した。音楽が流れる中、一人ずつポーズングし、観客から大きな拍手を受けていた。プロジェクトリーダーを務めた3年井上香朋さん(18)は「シルクの魅力の色鮮やかに表現でき

た」と笑顔を見せた。同校と鶴岡南高の生徒による鶴岡の絹産業の認知度を高めるための課題研究発表も行われた。日本遺産に認定された同市のシルクの魅力と可能性を発信しようと、鶴岡「サムライゆかりのシルク」推進協議会が主催。約400人が来場した。(根本光輝)

被服系は シルクガールズコレクションを 2/12 ベルナール鶴岡で開催します